

2025年11月7日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

当組合は、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成と万全な保障充足に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（J A 共済連）が、共同で事業運営しております。

ふかや農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者の皆さまへの最適な金融商品、共済仕組み・サービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3)、補充原則1～5本文および(注)】

- ・ 組合員・利用者の皆さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、組合員・利用者の皆さまの多様なニーズにお応えできるものを選定いたします。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- ・ 金融商品の選定にあたっては、組合員・利用者の皆さまのいろいろな「投資に関するニーズ」に合った商品を揃えつつ、組合員・利用者の皆さまの「選びやすさ」も考慮し、幅広い商品の中から一定の商品数に絞った「JAバンクセレクトファンド」を採用しています。
- ・ なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	6 (前年度末：6)
株式型	6 (前年度末：6)	6 (前年度末：6)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	11 (前年度末：11)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約6,000本の中から、JAバンクが独自の基準で長期投資に適した投資信託を厳選しました。

主な選定基準等

1	長期投資	長期投資を前提とした投資信託であること
2	手数料	手数料が良心的な水準であること
3	運用実績	過去の運用実績が相対的に良好であること
4	将来性	資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
5	運用体制	運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

I.取組状況

1 組合員・利用者の皆さまへの最適な金融商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則6本文および(注2、3)、
補充原則1～5本文および(注)】

- 当組合は、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献することを使命としており、契約者・組合員に寄り添う活動を通じて、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- 住宅価格の高騰により連帯債務の住宅ローン利用者が増加したことを受けて、団体信用生命共済において従来よりも手厚い保障が可能となる連生タイプの取扱を新たに開始しております。
- 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。

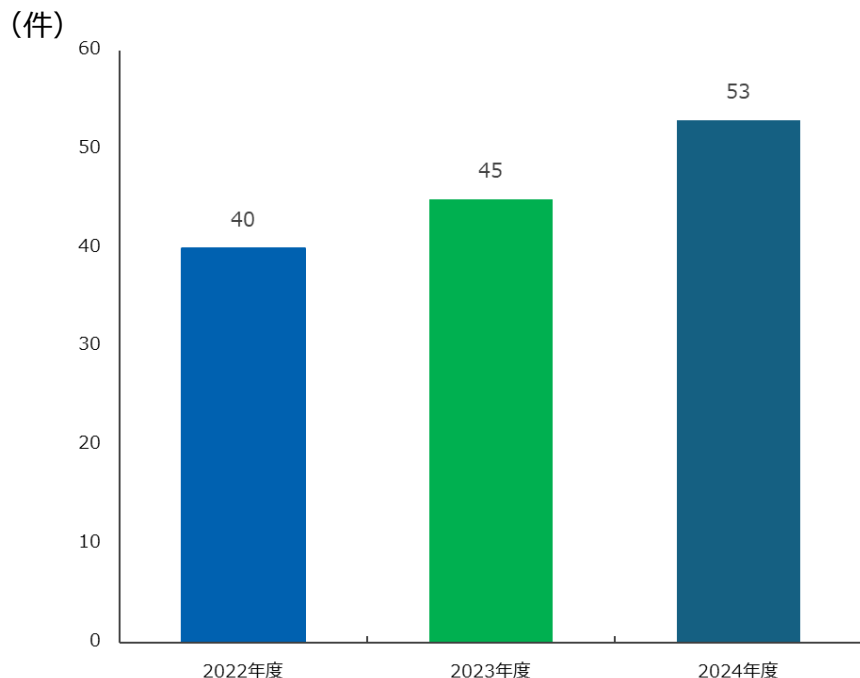
I.取組状況

2 組合員・利用者本位のご提案と情報提供①

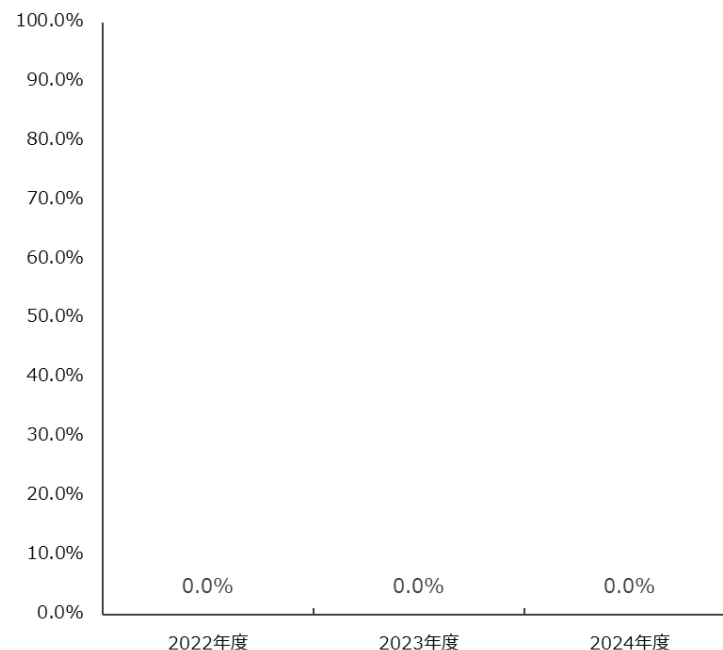
【原則 2 本文および（注）、原則 5 本文および（注 1 ～ 5）、
原則 6 本文および（注 1 ～ 7）】

- ・ 組合員・利用者の皆さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせ、属性・適合性を判断したうえでご提案させていただく各商品のリスク特性や手数料等の重要な事項について、分かりやすい表現でご理解いただけるよう丁寧なご説明を行いました。投信つみたて契約件数は前年度よりも増加しております。また、毎月分配型ファンドの販売はございませんでした。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



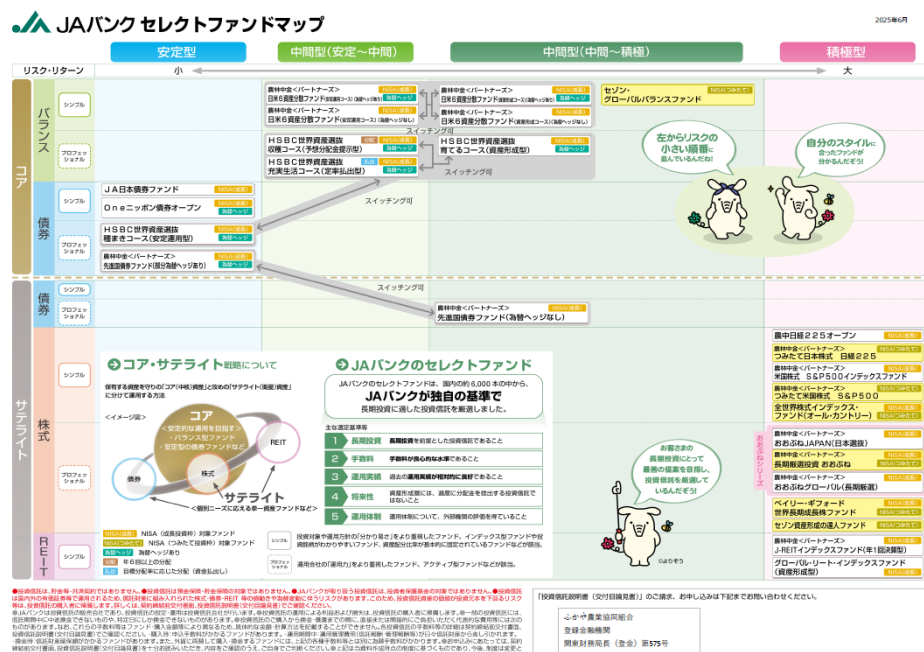
I. 取組状況

2 組合員・利用者本位のご提案と情報提供②

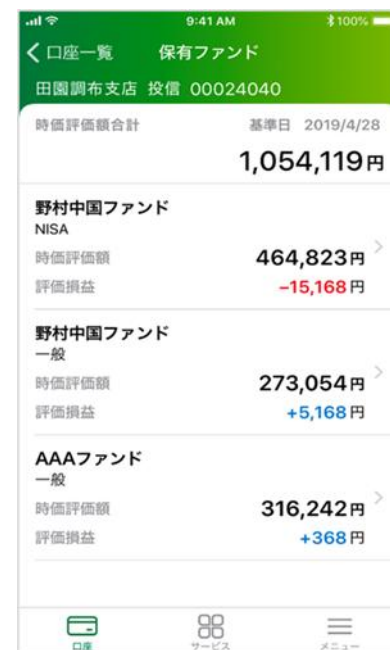
【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1, 2, 4, 5）】

（１）信用の事業活動

- 商品のご提案の際には、商品の特性やリスクなどを「J Aバンクセレクトファンドマップ」等を活用し、ご提案商品以外の商品と比較してわかりやすくご説明することにより、組合員・利用者の皆さまのご理解を深めたうえで商品選定をいただくよう努めております。
- 組合員・利用者の皆さまご自身で、日々の運用状況を手軽に確認できる「J Aバンクアプリ」をご案内いたしました。また、投資判断に必要な情報も随時ご提供いたしております。
- 組合員・利用者の皆さまにご負担いただく手数料については「重要情報シート」等を提示し、ご負担いただく手数料がどのようなサービスの対価に関するものかをご説明しております。



JAバンク セレクトファンドマップ



JAバンクアプリ(画面表示例)

2 組合員・利用者本位のご提案と情報提供③

【原則2本文および（注）、原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

① 共済仕組み・サービスのご提案

- 共済仕組み・サービスの提案にあたっては、ライフアドバイスブック、意向確認・確認シート等を使用し、組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向を適切に把握しております。
- 組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に基づき、保証設計書、Lablet'sの保障提案機能等により、最良・最適な共済仕組み・サービスを提案しております。
- ニーズに合致したと思われる共済仕組み・サービスについては、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。

② 情報提供

- 組合員・利用者の皆さまが、生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう情報提供を実施しております。
- 情報提供にあたっては、遺族年金等の公的保険制度に係る情報や、疾病の罹患率や入院期間等の統計データの提供などにより、分かりやすく説明しております。

③ 契約締結時の対応

- 意向確認書、重要事項説明書による丁寧な説明を通じてご提案した共済仕組み・サービスが組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に沿ったものであるか確認しております。

I.取組状況

2 組合員・利用者本位のご提案と情報提供③

【原則2本文および（注）、原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

④ 高齢者対応

- ご高齢の組合員・利用者の方については、ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時には複数名の職員での対応、70歳以上の方へのご提案時にはご親族の方に同席していただくようお願いするなど、よりきめ細やかな対応を行っております。

⑤ 各種手続きとアフターフォローの実施

- 各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまに分かりやすくご説明しております。
- 令和5年度からは支払い請求手続きの簡素化を推し進めるなど、組合員・利用者の皆さまの利便性向上に向けて取り組んでおります。
- ご加入後も共済金の請求もれのないよう、ライフアドバイザーによる3Q活動の実施やあんしんチェックによる保障内容の見直しを行うなど組合員・利用者の皆さまに寄り添った取組みを実施しております。
- 保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等にご負担いただいております。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および（注）】

- ・ 組合員・利用者の皆さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することが無いように「利益相反管理方針」にて、「対象取引の範囲」、「利益相反のおそれのある取引の種類」等を定め、利益相反管理統括部署において適切に管理しております。
- ・ また、「利益相反管理方針の概要」を当組合のホームページにて公表しております。
- ・ 「JAバンクセレクトファンド」を採用しており、お客さまの立場に立った商品ラインナップに努め、特定の運用会社に偏った商品のご提案、ご説明は致しません。

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

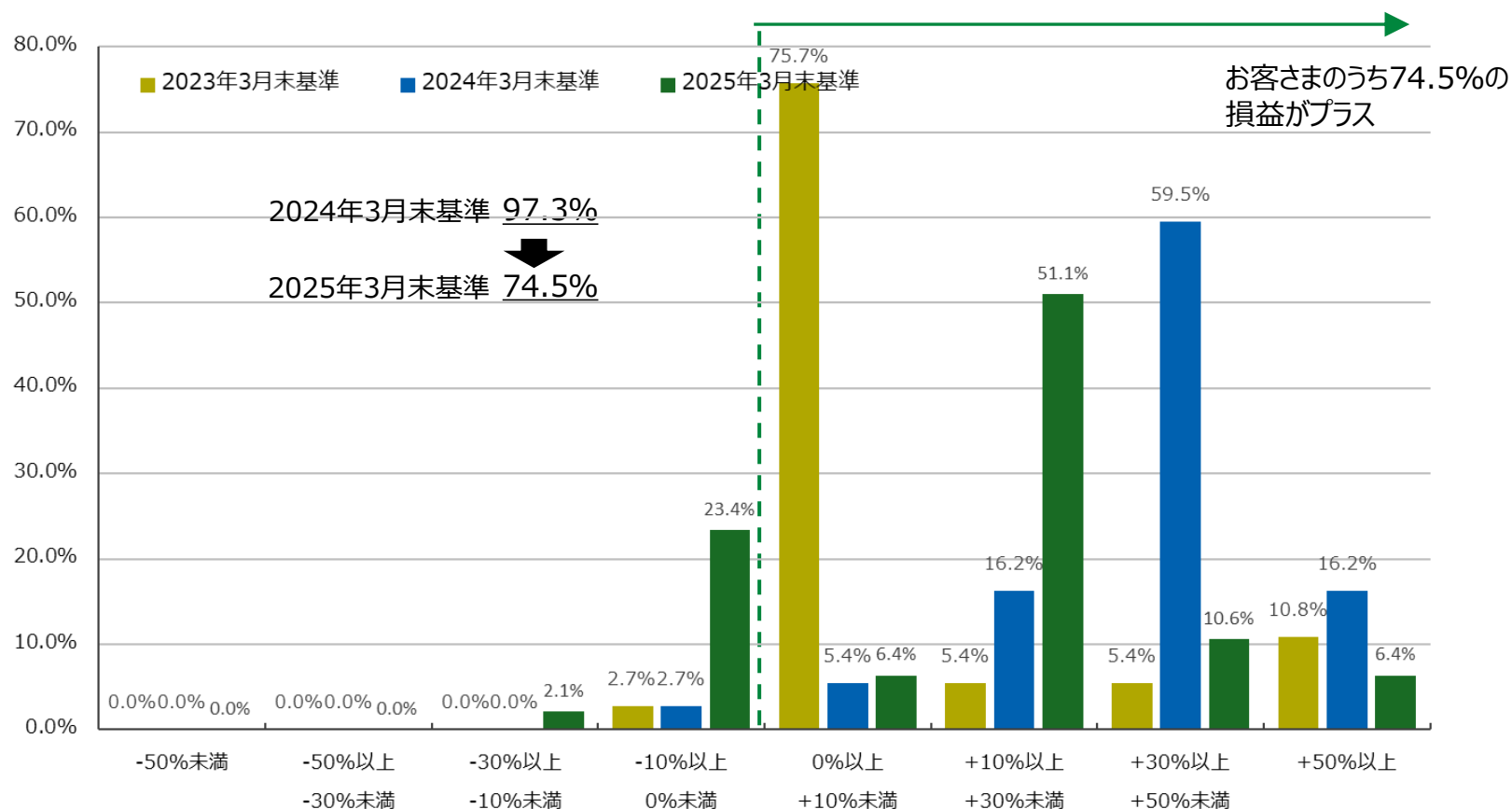
【原則2本文および（注）、原則6（注5）、原則7本文および（注）】

- ・ 高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成するため、ファイナンシャルプランナー（FP）資格や銀行業務検定等の資格取得の助成を行っております。また、全職員に証券外務員1種・2種、内部管理責任者の資格取得を促しており、本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。
- ・ 当組合では、パソコンやタブレットで視聴できる研修動画コンテンツを備えており、研修受講による各職員のスキルアップを通じて、お客さまの健全な資産形成のお役に立てる人材育成に努めております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の74.5%のお客さまの損益がプラスとなりました。

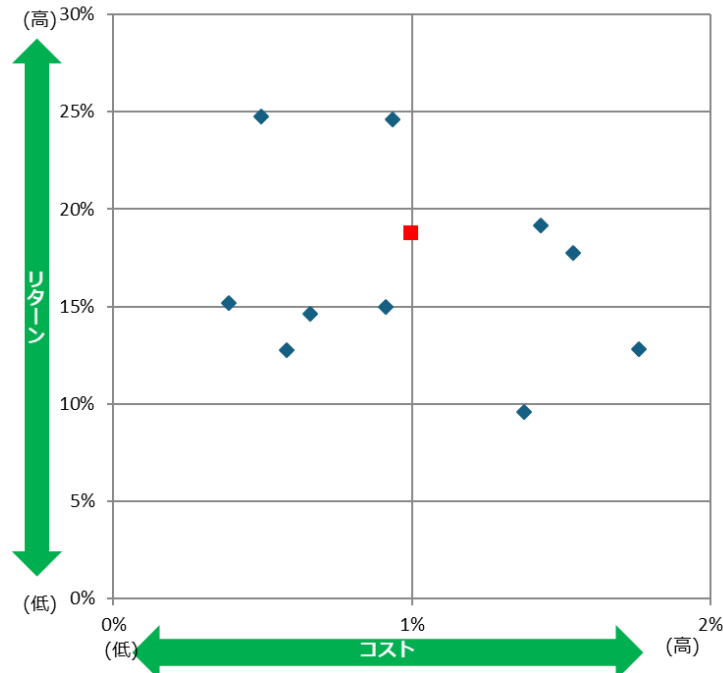


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

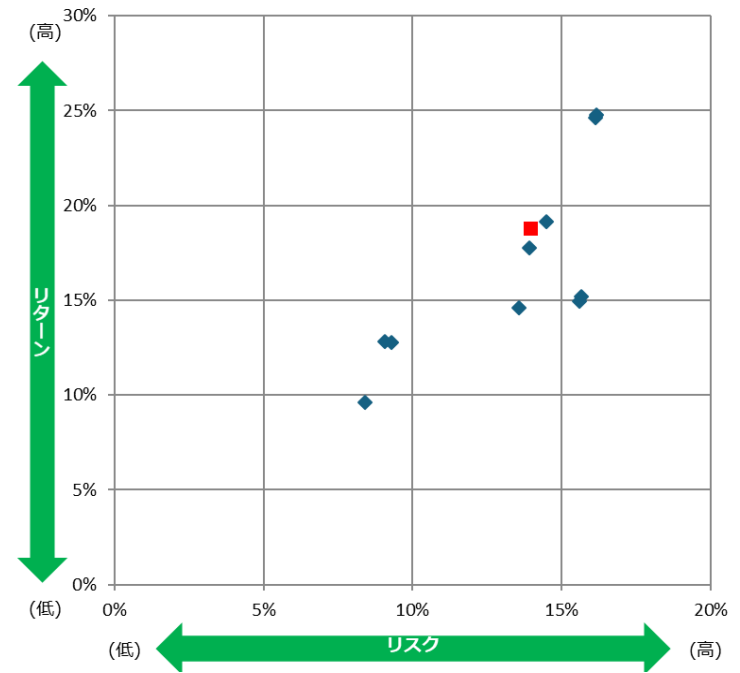
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.00%、平均リスク13.98%に対して、平均リターンは18.78%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



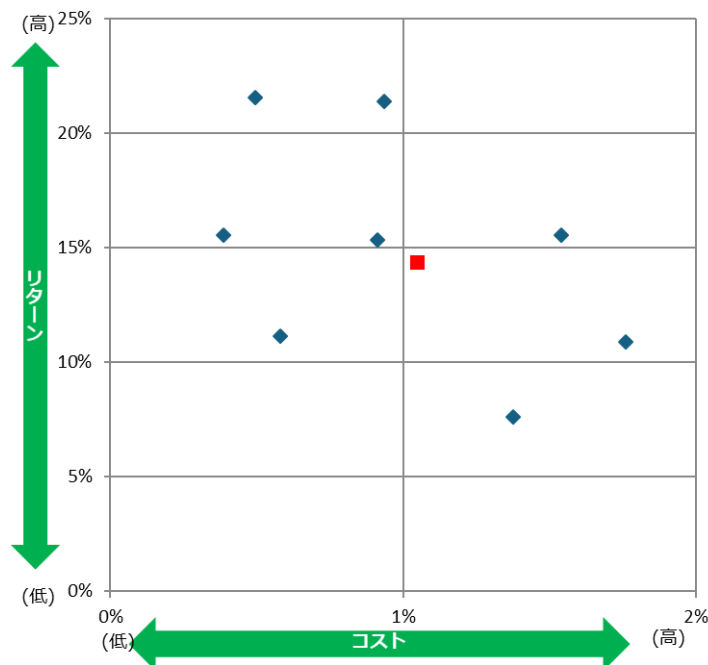
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、13ページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

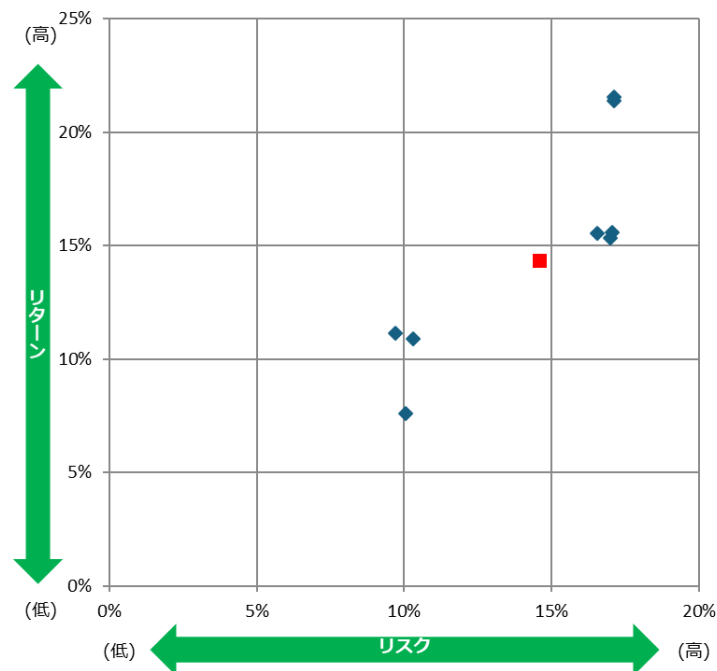
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.05%、平均リスク14.60%に対して、平均リターンは14.34%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



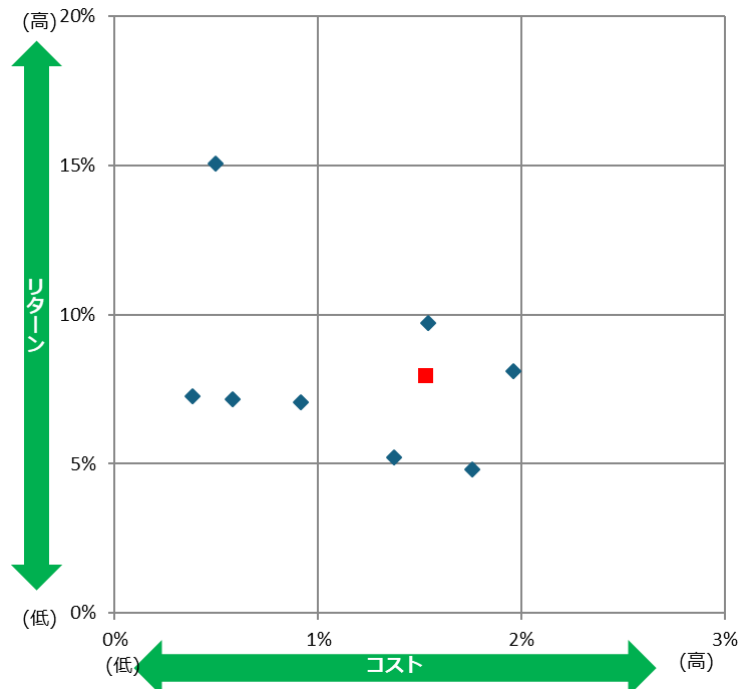
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、14ページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

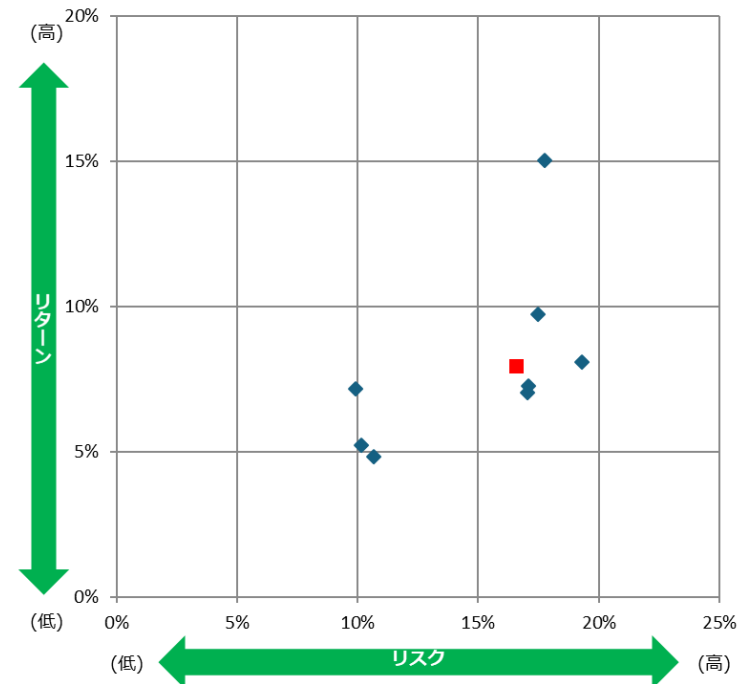
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.53%、平均リスク16.58%に対して、平均リターンは7.94%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、15ページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.62%	16.15%	0.94%
2	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.77%	16.16%	0.50%
3	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	17.77%	13.93%	1.54%
4	世界の財産 3 分法ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント（株）	9.60%	8.39%	1.38%
5	つみたて日本株式 日経 2 2 5	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.19%	15.67%	0.39%
6	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.14%	14.48%	1.43%
7	農中日経 2 2 5 オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.96%	15.62%	0.91%
8	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	12.76%	9.29%	0.58%
9	おおぶねグローバル（長期厳選）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	14.63%	13.58%	0.66%
10	J A 資産設計ファンド（積極型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	12.83%	9.07%	1.76%
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		18.78%	13.98%	1.00%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は10本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	世界の財産 3 分法ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント（株）	7.59%	10.06%	1.38%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	15.53%	16.54%	1.54%
3	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.55%	17.11%	0.50%
4	つみたて日本株式 日経 2 2 5	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.57%	17.06%	0.39%
5	農中日経 2 2 5 オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.34%	17.00%	0.91%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	11.15%	9.72%	0.58%
7	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.40%	17.11%	0.94%
8	J A 資産設計ファンド（積極型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	10.88%	10.30%	1.76%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		14.34%	14.60%	1.05%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は8本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2023年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント（株）	8.09%	19.30%	1.96%
2	世界の財産3分法ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント（株）	5.23%	10.14%	1.38%
3	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	9.73%	17.50%	1.54%
4	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.05%	17.04%	0.91%
5	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.05%	17.74%	0.50%
6	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.26%	17.10%	0.39%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	7.18%	9.92%	0.58%
8	JA資産設計ファンド（積極型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.82%	10.66%	1.76%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		7.94%	16.58%	1.53%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は8本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。